

授業改善推進プラン(指導方法の課題分析と具体的な改善計画)

生活	指導方法の課題分析	具体的な授業改善	補充・発展的指導計画
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の施設、学校生活を支えている人々については、校内全体の教職員とふれあう活動を取り入れ、普段見ることのない、道具や施設などについて主事から実物を見せてもらいながら、学習した。・朝顔の観察では、特徴をとらえてカードにまとめる作業が苦手な子が多くいる。・季節を感じて動植物に触れる活動をが少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して、他学年や教職員と関わりながら工夫して活動する機会を増やす。</li> <li>・諸感覚を使って観察できるよう、例示し、継続的に支援していく。</li> <li>・通学路の様子や地域の遊び場についても体験学習の場を計画的にとり、季節の変化によって変わっていくことも学ばせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や祖父母の方だけでなく地域の方々にも伝承遊びを教えていただき、地域も子どもたちを支えていただいていることに気づかせる。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校探検、野菜を育てる(ミニトマト、ポップコーン)、町探検といった課題に対し、興味をもって取り組むことができたが、まとめる力には差が見られた。</li> <li>・与えられた課題以外に、自分たちで活動したいという発展的な意識を育てていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観点を決めて記録できるように、観察カードや生活科カードのまとめ方を工夫する。</li> <li>・生活科の授業以外でも朝の会や学級活動などで生活科で学んだことを活かせる場はないか、意識を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気づきや感想を発表する場を多く設けたり、グループ活動をする機会を多く取り入れたりしながら、自分の身の回りのことに関心を広げさせる。</li> </ul>
3年			
4年			
5年			
6年			